

景觀形成情報発信・啓発事業

都市部 都市計画課 景觀推進室

目次

- 1. 景観形成情報発信・啓発事業の概要**
- 2. 我孫子のいろいろ八景歩きについて**

1. 景観形成情報発信・啓発事業の概要

景観形成情報発信・啓発事業の目的・効果

- ・多くの市民が我孫子の魅力ある景観を知り、興味・関心をもつことが、景観を守り・育てることにつながる。
- ・そのため、我孫子の景観に関する情報発信と啓発事業を継続的に進めている。

（景観の情報発信・啓発）

- ◎イベント実施
- ◎マップ、刊行物の配布
- ◎景観づくり市民団体の活動支援

（市民が）

- ◎我孫子の景観に興味・関心をもつ
- ◎景観を見に訪れる（市外からも）

（効果）

- ◎新たな景観資源の発掘
- ◎良い景観を守り、育てる
- ◎我孫子のPR効果、魅力アップ

景観情報リーフレット「花と緑のまちづくり」の発行（平成25年～29年度）

（発行の目的）

ご自宅のお庭（ストリートガーデン）など、身近な所から我孫子の景観の向上を図っていくために発行。

（誌面の内容）

- ・ まちを彩るストリートガーデンのご自宅を取材した記事
- ・ お庭づくりに活かせる手法の紹介
- ・ 他市の景観に関する取り組みの紹介 など
- ・ 平成25年から29年度にかけて、第5号まで発行（年1回発行）
→平成30年度は発行休止

景観形成情報発信・啓発事業の実施内容①
景観形成情報発信・啓発事業の実施内容①
景観形成情報発信・啓発事業の実施内容①



エコ生活を始めよう
第5回 挿し木は面白い

挿し木で植物を増やして、お庭を豊かにしてみませんか。挿し木をすることで、お庭の景観が豊かになります。挿し木は、お庭の景観を豊かにするための大切な技術です。挿し木の方法は、お庭の景観を豊かにするための大切な技術です。挿し木の方法は、お庭の景観を豊かにするための大切な技術です。

挿し木のポイントは？

- ①挿し木の時期は、春先から夏にかけてです。挿し木は2～3月が最適です。
- ②挿し木の長さは、お庭の景観を豊かにするための大切な技術です。
- ③挿し木の土は、お庭の景観を豊かにするための大切な技術です。

挿し木の土は、お庭の景観を豊かにするための大切な技術です。挿し木の土は、お庭の景観を豊かにするための大切な技術です。挿し木の土は、お庭の景観を豊かにするための大切な技術です。



景観づくり市民団体が行うイベント活動の支援

我孫子の景観を育てる会（景観づくり市民団体）について

- 「景観づくり市民講座」を受講したメンバーにより、我孫子の景観を誇れるようにしようという趣旨の元、平成13年に発足。
- 会員数は57名（平成30年4月現在）。
- 多くの方々に我孫子の景観に関心をもってもらうため、さまざまな活動をしている。
- 市では、平成13年に我孫子市景観条例に基づく「景観づくり市民団体」に認定している。
- 千葉県では、平成20年に「景観づくり地域活動団体」に認定している。

景観づくり市民団体が行うイベント活動の支援

イベント実施の目的・効果

- 企業が所有している庭園等を一般公開して、広く市民に知ってもらう。
→我孫子市の「隠れた景観資源」ともいえる企業の庭園等を、どうしたら将来に残していけるかを市民と一緒に考え、支えていくきっかけづくりとなる。
- 近年では、市外からのイベント来場者が全体の30%を超えている。
→我孫子市を市外にPRする効果もある。

市が行う支援内容

- 市では活動支援として、イベント実施時の広報活動や、資材の貸出、設営準備の協力等を行っている。

我孫子の景観を育てる会のイベント活動① 日立総合経営研修所庭園公開

（開催の趣旨）

普段は非公開である日立総合経営研修所の庭園を一般公開する。
平成14年から開始。

（開催時期）

毎年2回（春・秋）の庭園公開を開催。
※平成30年からは年1回（秋）開催。

（平成29年来場者数）

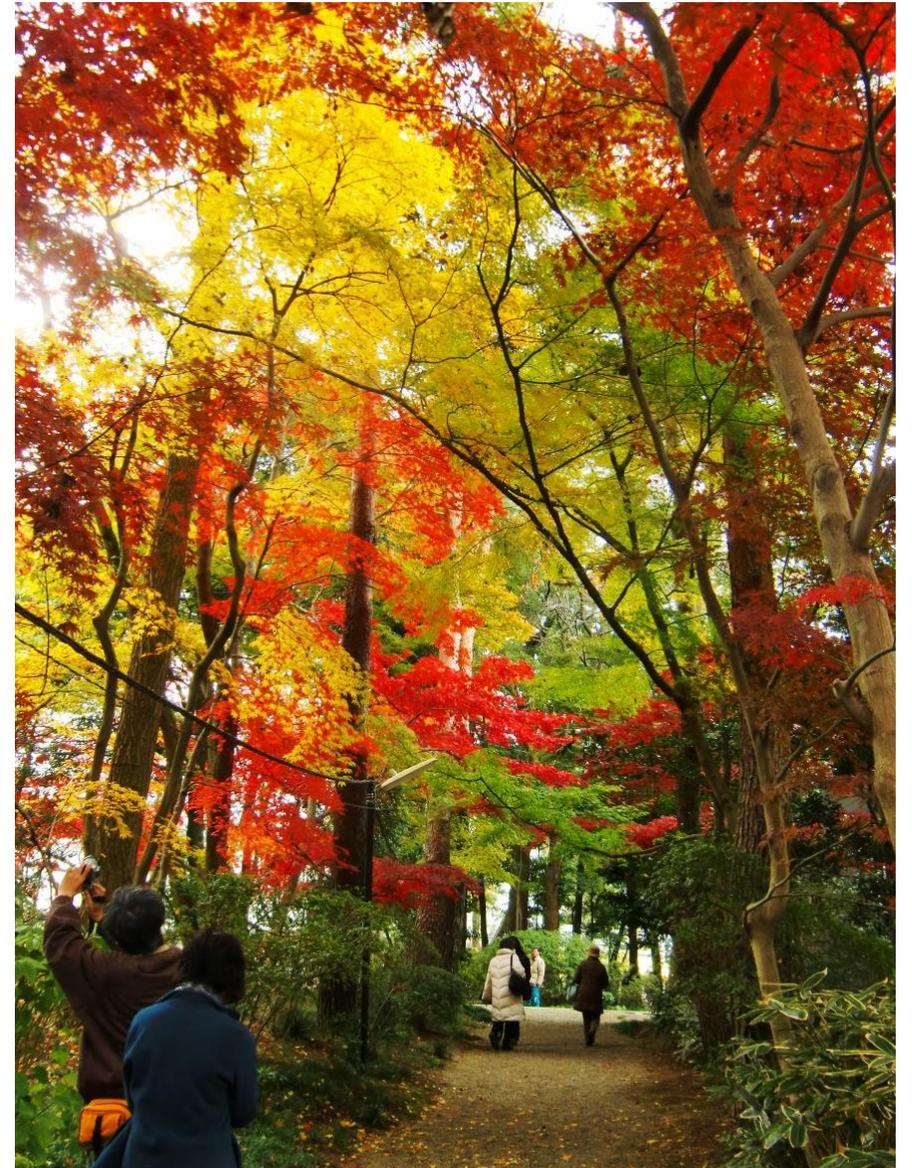
（春）740人（うち市外来場者43%）

（秋）1,688人（うち市外来場者45%）

（平成28年来場者数）

（春）800人（うち市外来場者33%）

（秋）2,043人（うち市外来場者47%）



我孫子の景観を育てる会のイベント活動② 市民観桜会

（開催の趣旨）

桜の季節に、我孫子ゴルフ倶楽部の一部を一般公開して、コース内の見事な桜を鑑賞してもらう。

平成15年から開始。

（開催時期）

・毎年1回（春）の開催。

（平成30年来場者数）521人

（うち市外来場者31％）

※桜開花の時期が過ぎていたため来場者減少

（平成29年度）雨天中止

（平成28年来場者数）1,043人

（うち市外来場者35％）



2. 我孫子のいろいろ八景歩きについて



オオバンくん

(我孫子のいろいろ八景歩きマスコットキャラクター)

**「我孫子のいろいろ八景探し」
（平成24年～26年度）**

我孫子のいろいろ八景探し（平成24～26年度）

実施の目的

- ・市内の新たな景観資源の発掘を行い、我孫子の魅力アップにつなげる。
→ イベント活動では企業が所有する普段見ることが出来ない景観を公開しているのに対し、日常的にいつでも自由に見ることができる景観を発掘する。

実施内容

- ・ 8つのテーマに分けて、我孫子市内の魅力的な景観ポイント（お気に入りの場所や隠れた魅力的な風景）を市民の皆さんから募集した。

実施の効果

- ・ 市民参加型で実施することで、市民に景観への興味・関心をもってもらい、景観に対する意識啓発につなげる。

我孫子のいろいろ八景の8テーマ

① 公園



(気象台記念公園)

② 坂道



(けやき通りの坂)

我孫子のいろいろ八景の8テーマ

③ 成田線車窓



(成田線の車窓から見た宮ノ森公園)

④ まちなみ



(日立総合経営研修所周辺のまちなみ)

我孫子のいろいろ八景の8テーマ

⑤ ハケの道



(岡発戸・都部の谷津)

⑥ 斜面林・田園



(広大な手賀沼干拓地)

我孫子のいろいろ八景の8テーマ

⑦ 桜



(手賀沼遊歩道)

⑧ 水



(古利根沼)

我孫子のいろいろ八景探し（平成24～26年度）

市民からのお気に入りの景観ポイント 応募状況

年度	応募人数	景観ポイントの応募数
平成24年度	197人	公園 48か所 坂道 70か所 成田線車窓 29か所
平成25年度	172人	まちなみ 44か所 ハケの道 23か所 斜面林・田園 24か所
平成26年度	277人	桜 114か所 水 43か所

「我孫子のいろいろ八景」の選定（平成24～26年度）

- 市民からの応募を元に、8テーマそれぞれに8か所の景観ポイントを選定。
→ 8テーマ×8か所＝合計64か所が「我孫子のいろいろ八景」に選ばれた。

我孫子のいろいろ八景（64か所）
分布図



我孫子のいろいろ八景 発表会コンサート（平成24年～26年度）

- ・ 選定した「我孫子のいろいろ八景」を発表するコンサートを年1回開催。

（来場者数データ）

平成24年度	200人
平成25年度	350人
平成26年度	534人



「我孫子のいろいろ八景 見聞綴り」の発行（平成24～26年度）

- ・ 選定された「我孫子のいろいろ八景」全64か所を紹介する冊子として「我孫子のいろいろ八景 見聞綴り」（全3冊）を発行

発行年度	タイトル	発行部数
24	見聞綴り 其の一	3,000部
25	見聞綴り 其の二	2,700部
26	見聞綴り 其の三	2,500部



**我孫子のいろいろ八景歩き
（平成27年～30年度）**

「我孫子のいろいろ八景歩き」平成27～平成30年度

実施の目的

- 「我孫子のいろいろ八景」のさらなる普及・定着。
- 実際に歩いてもらい、より身近に「我孫子のいろいろ八景」を楽しんでもらう。

実施内容

- 選定した「我孫子のいろいろ八景」を散策するためのコースを作成。
- そのコースをガイド付きで散策するイベント「我孫子のいろいろ八景歩き」を実施。

実施の効果

- ガイドを聞きながら散策することを通じて、我孫子の景観に興味をもってもらう。そして景観を守り、育てることの重要性を感じてもらう。
- 市外の人に対しては、我孫子を訪れるきっかけづくりとなる。
- 波及効果として、市内・市外の市民団体から、「我孫子のいろいろ八景歩き」のガイドをしてほしい、との依頼も複数受けている。

「我孫子のいろいろ八景歩き 散策コース」

- ・市内を4つのエリアに分けて、オリジナルの散策コースを作成
- ・平成27年～29年度で、各エリアごとに3コース、合計12コースが完成
- ・各コースは、JRの駅をスタート・ゴール地点に設定しているため、歩きやすい。

作成年度	我孫子エリア	天王台・東我孫子エリア	湖北エリア	布佐・新木エリア
27	①白樺派の散歩道と水辺のまちなみコース	①高野山台地の八景と古墳を巡るコース	①湖北台のまちなみと田園コース	①布佐・新木の三大緑地公園コース
28	②白山のまちなみと船戸の森・湧き水の小径コース	②“守られた自然”かじ池・谷津を巡るコース	②古道をたどり森と水辺が招く古利根コース	②新木・古戸の古社と里を巡るコース
29	③マンションストリートから森をぬけるつくし野コース	③ハケの道と坂道の岡発戸こもれびコース	③将門伝説の地と中里市民の森を行くコース	③利根川と布佐の里道を歩くコース

我孫子のいろいろ八景歩きコースマップの発行

- ・いつでも自由に「我孫子のいろいろ八景歩き」を楽しんでもらうため、全12コースのマップを発行。市内各公共施設で配布。



我孫子のいろいろ八景歩きの実施

- ・ 広報あびこなどで一般参加者を募集して実施。
募集定員は1回につき25名（平成30年度からは1回につき20名）

年度	実施回数	合計参加者数
27	4回	105名
28	8回	192名
29	8回	177名
30	8回 (予定)	67名 (4回の実績数)



「我孫子のいろいろ八景」関連マップの発行

- 「我孫子のいろいろ八景」の8テーマのうち、季節ごとの景観を楽しんで頂くため、「桜八景マップ（27年度）」「水八景マップ（29年度）」を発行。
- 30年度は「成田線車窓八景マップ」を発行予定。

（桜八景マップ）



（水八景マップ）



各マップの発行部数データ（平成27～30年度）

当初発行年度	マップ名	総発行部数（増刷分含む）
27年度	<ul style="list-style-type: none"> ・白樺派の散歩道と水辺のまちなみコース ・高野山台地の八景と古墳を巡るコース ・湖北台のまちなみと田園コース ・布佐・新木の三大緑地公園コース 	各5,000部
28年度	<ul style="list-style-type: none"> ・白山のまちなみと船戸の森・湧き水の小径コース ・守られた自然”かじ池・谷津を巡るコース ・古道をたどり森と水辺が招く古利根コース ・新木・古戸の古社と里を巡るコース 	各5,000部
29年度	<ul style="list-style-type: none"> ・マンションストリートから森をぬけるつくし野コース ・ハケの道と坂道の岡発戸こもれびコース ・将門伝説の地と中里市民の森を行くコース ・利根川と布佐の里道を歩くコース 	各3,000部 (30年度に各1,000部増刷予定)
27年度	桜八景マップ	7,000部
29年度	水八景マップ	2,000部 (30年度に6,000部増刷予定)
30年度	成田線車窓八景マップ	10,000部（予定）

「我孫子のいろいろ八景歩き」パネル展示

- ・「我孫子のいろいろ八景」に選ばれた景観の写真や、散策コースマップなどを紹介するパネル展示を定期的を実施。

(実施施設)

アビシルベ、アビスタ、
市民プラザ、近隣センター9か所

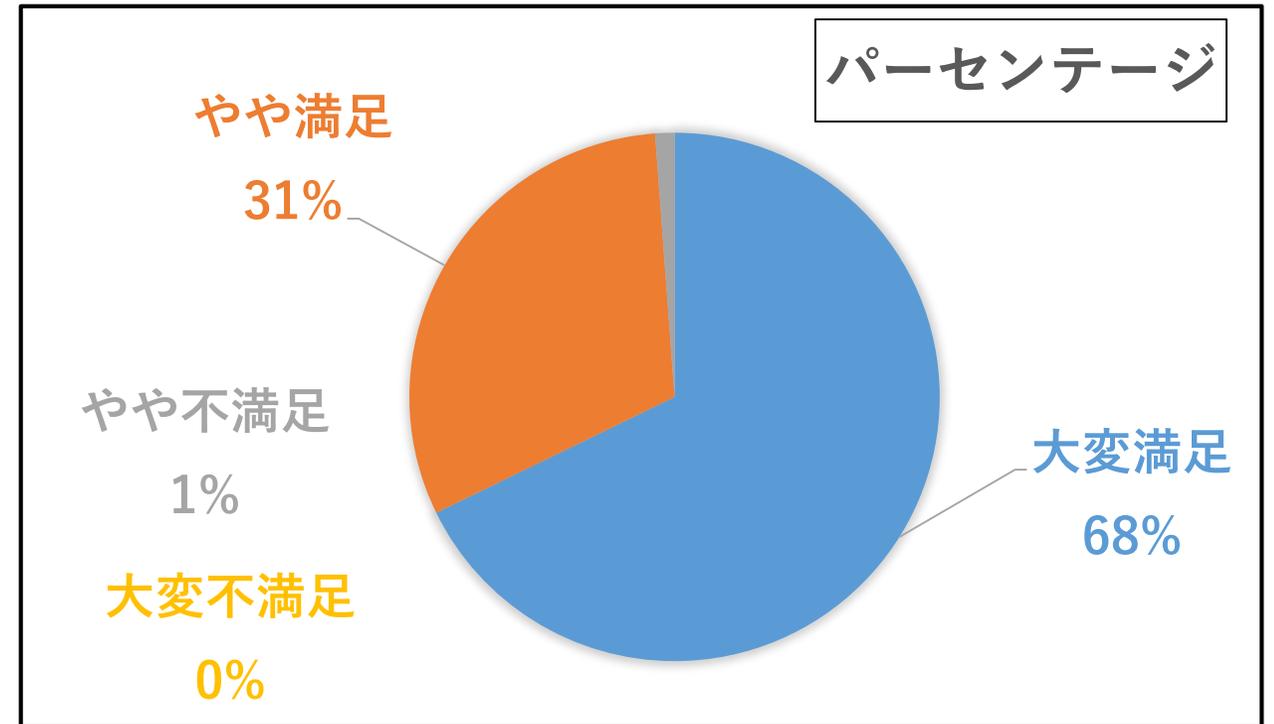


「我孫子のいろいろ八景歩き」実施の効果① アンケート結果

- ・平成27年～30年度（8月時点）に実施した「我孫子のいろいろ八景歩き」（合計24回）の参加者512名にアンケートを実施。

Q1. 「我孫子のいろいろ八景歩き」に参加してご満足いただけましたか？

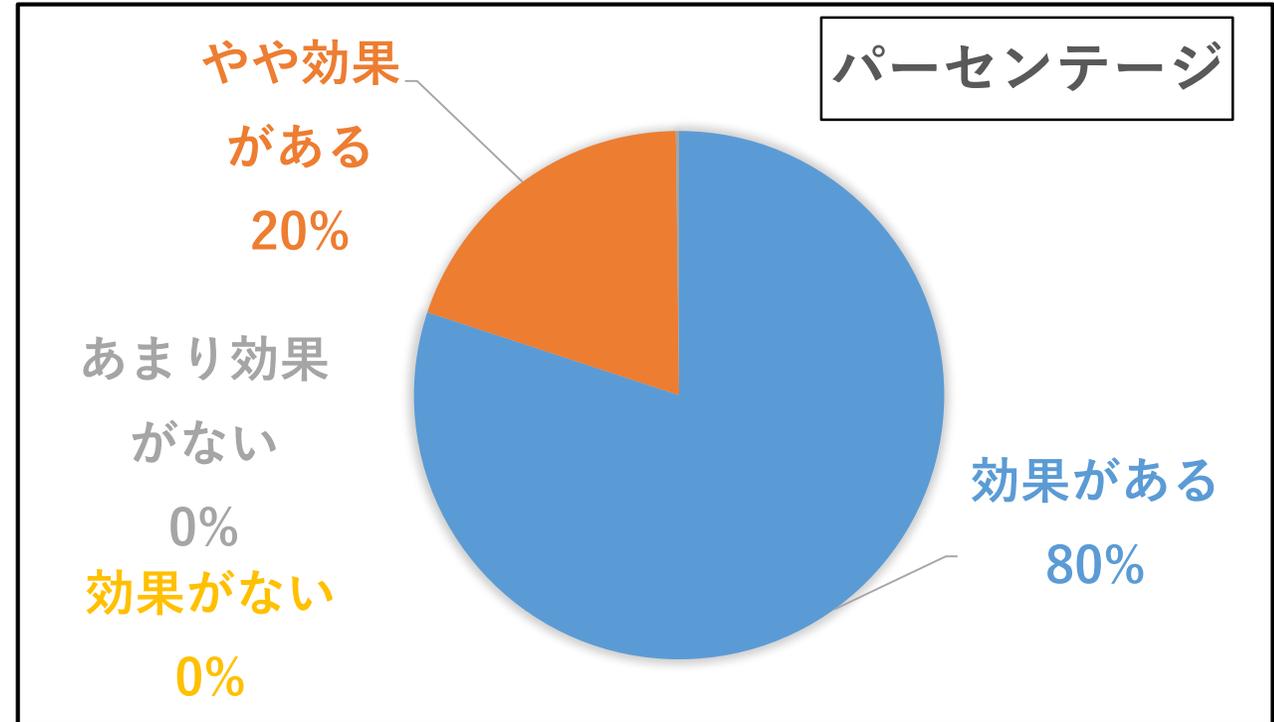
	大変満足	やや満足	やや不満足	大変不満足
回答者数	327名	159名	6名	0名



「我孫子のいろいろ八景歩き」実施の効果① アンケート結果

Q2. 「我孫子のいろいろ八景歩き」の実施は、景観への関心を持ってもらう上で効果があったと感じましたか？

	効果がある	やや効果がある	あまり効果がない	効果がない
回答者数	410名	101名	1名	0名



「我孫子のいろいろ八景歩き」実施の効果② メディアも注目

- ・新聞、タウン情報誌、テレビにも取り上げられている。
→我孫子をPRする効果もある。

主なメディア掲載の履歴

27年度	朝日新聞 (4/14号) 千葉日報 (5/3号) 朝日新聞 (10/22号) 読売新聞 (1/10号) 朝日新聞 (1/20号) 朝日新聞 (1/20号) 東葛まいにち (1/27号)
28年度	東京新聞 (9/1号) 千葉日報 (9/19号) 朝日新聞 (9/13号) J:COMテレビ「東葛調査隊」 (9/19放送)
29年度	東葛まいにち (5/31号) みんなの情報誌 (12/18号) ぐるっと千葉11月号 定年時代6月号
30年度	J:COMテレビ「デイリーニュース」 (6/13放送)



「朝日新聞」の「まちなか田園」コーナーで、桜並木を歩く「我孫子のいろいろ八景」が紹介された。これからは、桜並木を歩く「我孫子のいろいろ八景」が紹介された。

歩いてみよう 我孫子の「八景」

我孫子市民の公募を基に選抜した「我孫子のいろいろ八景」を訪ねる散策会が、11月から始まる。市民団体「我孫子の景観を育てる会」(吉澤淳一会長)のメンバーの案内で、これから紅葉が見頃になる公園や田園コースを楽しむ。

育てる会が市から景観啓発事業の委託を受け、2012年度から8年がかりで「八景探検」を実施。「坂道」「成田線車窓」「桜」など八つのテーマごとに八景、計94景が決まった。

散策会は、育てる会が八景の普及を目的に94景を組み合わせるコースを設定。今年度から4回実施し、8年かけてすべての八景を巡る予定だ。

初回は11月22日の「布佐・新木の三大緑地公園コース」で、屋ノ森、気象台記念公園などを歩く。2回目は12月6日の「潮北台のまちなみと田園コース」で、びやき通りの坂や潮北中央公園などを訪ねる。各コースごとにガイドマップを発行。育てる会のメンバーが独自のエピソードなどを交えてガイドする。

吉澤会長は「景観を楽しむ新しい形の散歩会ができるのでは」と期待する。各コースとも先着50人。無料。受け付けは11月2日から。問い合わせは市都市計画課景観推進室(04-7185-1529)へ。

来月22日から散策会 市民団体がガイド

我孫子の64景楽しもう!!

散策コース 新たに4本 18日から4回イベント



新たな散策コースを設定した古利根川「我孫子市」

我孫子市は、景観への関心を高めてもらおうと、四本の散策コースを新たに定め、今月からウォーキング行事を開催する。「市民団体のボランティアが、見どころやほれ話を披露しながら道案内する。

市は景観資源を掘り起こす目的で、市民団体「我孫子の景観を育てる会」の協力を得て、二〇二二年から「我孫子のいろいろ八景」を探し、公園、坂道、街並みなど八つのテーマ別に、三年がかりでそれぞれの八景(計六十四景)を選んだ。

昨年からは散策コースの設定を始め四コースを設定。今年は、市内の四駅を起点とする四・二・一五の四コースを新たに決めた。来年設定予定の四本を含めた十二コースを歩くこと、全六十四景を楽しむと目している。

ウォーキング行事は「我孫子のいろいろ八景歩き」と銘打ち、今月十八日と十月二日、九日、十六日に、いずれも参加費無料、定員二十五人で行われる。初回は「古道をたどり森と水辺が招く古利根川コース」で、かつては利根川本流で三日月湖だった古利根沼を中心に城跡や自然観察の森などを巡る。

一回目は「白山のまちなみと船の森・湧き水の小径コース」。我孫子駅周辺の市街地や武者小路美濃邸跡などを予定している。一回目と二回目は一日か



CAST 撮影 市川 美穂 撮影協力 我孫子の景観を守る会 我孫子市役所 制作協力 ムービーアイ

制作著作 J:COM

「我孫子のいろいろ八景」事業の実施手法について

- 「我孫子のいろいろ八景」の事業は、「我孫子の景観を育てる会」が提案型公共サービス民営化制度で提案した事業。
→ 「我孫子の景観を育てる会」に業務委託して実施している。

（業務委託の理由）

- 「我孫子の景観を育てる会」の我孫子の景観に関する知識や、経験ノウハウ、人脈を積極的に活用するため。
- 実施にあたり、職員人件費を増やさなくて良い。
→ 経費削減につながる。

「景観形成情報発信・啓発事業」の今後の課題

（課題1）

「我孫子のいろいろ八景歩き」の参加者は60代以上が多く、働く世代の参加者が少ない。

（課題2）

我孫子の景観を守り、次世代に伝えるため、我孫子の魅力的な景観を子ども世代へ伝える活動を行う必要がある。

ご清聴ありがとうございました。